

2017日本シニアオープンゴルフ選手権 開催記念 初開催のジュニアレッスン会「緑の未来教室」に協賛

9月16日に21人の小学生が参加、
本選手権に出場したプロゴルファーによるゴルフレッスン会を開催

株式会社関電工（本社：東京都港区、取締役社長：森戸義美）は、公益社団法人日本ゴルフ協会（JGA）が主催する日本三大ナショナルオープンのひとつ、2017年9月14日（木）～18日（月・祝）に福岡県宮若市のザ・クラシックゴルフ倶楽部で開催された「2017日本シニアオープンゴルフ選手権」に特別協賛しました。また、本選手権の開催ならびに特別協賛を記念し、次世代を担う子どもたちの心身の育成支援を目的に、9月16日（土）のジュニアレッスン会「緑の未来教室」に協賛しました。なお、関電工がスポーツ関連の大型イベントに特別協賛するのは初めてです。

今回のジュニアゴルフレッスン会「緑の未来教室」には、合計21人の小学生たちが参加しました。本選手権に出場した海老原プロ、倉本プロ、芹澤プロ、湯原プロに協力いただき、スナッグゴルフを活用したレッスン会や模範ショットの披露など、ゴルフの楽しさや達成感を体験できる内容となりました。参加した子どもたちは、めったにないプロとのふれあいや指導に、熱心に耳を傾けていました。



開催概要

- 名称 : 2017日本シニアオープンゴルフ選手権 開催記念 ジュニアレッスン会 ~ 緑の未来教室 ~
- 主催 : 公益社団法人日本ゴルフ協会（JGA）
- 協賛 : 株式会社関電工
- 協力 : ザ・クラシックゴルフ倶楽部、日本ジュニアゴルファー育成協議会（JGC）
- 日程 : 2017年9月16日（土）（日本シニアオープン開催期間中）
- 場所 : ザ・クラシックゴルフ倶楽部（福岡県宮若市）プリンスコース1番ホール
- 参加者 : 21名

<イベント開催レポート>

《スナッグゴルフを活用したレッスン会》

誰でも楽しめるスナッグゴルフの楽しさに、子どもたちも笑顔でいっぱい！

スナッグゴルフとは、“Starting New At Golf”の頭文字をとってSNAGと名付けられた、子どもから高齢者まで誰でも楽しめるアメリカ発祥のゴルフの入門になるスポーツです。

クラブを振る、球を打つ体感ができるスナッグゴルフを用いたレッスンでは、子どもたちはグリップやスイングなどの基礎を学んだあと、4～5名のグループに分かれ、コース内に特別に設置された1番から3番までのミニコースでスコアを競い合いました。



《出場プロによるゴルフレッスン》

プロゴルファーのスーパーショットに、目を輝かせる子どもたち。

このプログラムには、本大会に出場したプロゴルファーの海老原プロ、倉本プロ、芹澤プロ、湯原プロによる、ゴルフレッスンも行われました。最初に、芹澤プロ、湯原プロが見事なショットを見せると子どもたちは目を輝かせながら大きな歓声をあげ、食い入るようにプロの技に見入っていました。

また、後半のミニラウンドでは、海老原プロ、倉本プロが子供たちのチームに付いてレクチャーをしながらのラウンドを実施しました。美しく整備された本物のゴルフコースのフェアウェイの芝の上で、子供たちは歓声を上げながら、また、時にプロの指導に熱心に耳を傾けながら、ラウンドを楽しんでいました。



《参加した子どもたちの声》

「プロにゴルフをやさしく教えてもらって、すごく良い思い出になりました。」(10才・男子)

「最初はゴルフは難しいと思いましたが、だんだんうまく打てるようになって楽しかったです。」(7才・女子)

「初めてだけとすごく楽しかったです。ゴルフが好きになりました！」(8才・女子)

日本シニアオープンゴルフ選手権について

シニア・ゴルフ・プレーヤーにとってのナショナルオープンが、日本ゴルフ協会(JGA)が主催する「日本シニアオープンゴルフ選手権」です。第27回を迎える本大会では、日曜日に台風18号に伴う本戦の順延などありましたが、福岡県宮若市「ザ・クラシックゴルフ倶楽部」の素晴らしいコースにおいて、プロ・アマ問わず、4日間にわたってシニア・ゴルファーの熱き戦いが繰り広げられ、ディフェンディングチャンピオンのブラヤド・マークセン選手が2連覇を果たしました。

ザ・クラシックゴルフ倶楽部について

福岡県宮若市に立地する、福岡県でも屈指のチャンピオンコース「ザ・クラシックゴルフ倶楽部」は、ゆとりをテーマとした贅沢なレイアウトの27ホールで構成。キングコースはフェアウェイ両サイドに自然林が密集している9ホールの丘陵コース、クイーンコースは9ホール中5ホールで池が絡むアメリカンタイプのコースで、冷静なコースマネジメントとショットの精度が求められる難コースとして知られています。